

## 平成 26 年度自己点検・自己評価結果

### (1)教育理念・目標

評価項目	評価
1 学校の理念、目的、育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2 学校における職業教育の特色は何か	4
3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4 各学科に教育、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか	4
5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

#### 【評価項目に対する状況と課題、対策】

- 1 本校の基本理念は「豊かな人間性と創造力の育成」「先進的な知識と技術の修得」「開かれた学校」とし、社会の多様なニーズに対応できる人材の育成を目指している。  
本校の目的は、学校教育法に基づき「高医療福祉社会を実現する為の担い手である社会福祉、介護福祉、リハビリテーション医療、看護、助産及び保健、福祉、医療のネットワーク化を実現するための医療福祉等の人材を育成」であり、これを実現するための教育目標は、広い視野を持った人間性豊かな介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士等の福祉従事者や、理学療法士、作業療法士、看護師、助産師等の医療従事者を育成することである。
- 2 職業教育にふさわしい高度な専門知識、技術教育は無論、社会人として求められる人間性の教育も実践している。(各種行事、自治会行事、担任制によるきめ細やかな指導)
- 3 平成 28 年度より看護学科通信課程(2 年制)を開設する予定である。  
職業実践専門課程については、介護福祉学科、社会福祉学科、福祉心理学科に続き、他学科(4 学科)についても 27 年度に申請する準備を行っている。
- 4 本校の教育理念、また、各学科の教育目標等は「学習の手引」に記載されており、学生は、入学式前のオリエンテーション、保護者には入学式後に周知徹底している。また、外部の学校関係者にはホームページで公表するなど、あらゆる機会を通じて周知を図っている。
- 5 教育目標、育成人材及び構成する知識、技術、人間性等は、毎年度初めに点検し、また、関連業界や職能団体等からの情報や現場での実習等の機会を通じて、求められる人材要件を確認しつつ、学科運営計画を作成している。

## (2)学校運営

評価項目	評価
1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
4 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
5 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

### 【評価項目に対する状況と課題、対策】

- 1 学則に定めた学校の目的及びそれを達成するための教育目標に基づき、年度毎の重点項目を定めた「学校運営方針」を作成している。学科長はその学校運営方針に基づき「学科運営計画」を作成している。
- 2 年度毎に「事業計画」を作成し、年度初めの全体会議で提示している。  
学則に定めた学校の目的及びそれを達成するための教育目標に基づき、理事会の承認を得て年度毎に「事業計画」を策定している。
- 3 本校の組織運営、管理は、学校法人産業教育事業団の理事会、評議会のもと、専門学校においては、校長を責任者とし、学校運営会議を議決機関とし、意思決定を行っている。また、本校の校務分掌組織は明記されている。なお、限られた人員により運営しているため、各員に振り分けられる担当業務も多数となり、各担当業務の合理化と平準化が検討課題である。
- 4 法人本部が所管しており、基準、手続き等を整備して適切に実施している。
- 5 意思決定のプロセスと仕組みは制度化しており、組織図、職務分掌によって業務範囲が示されている。
- 6 日頃より、本校教育に対する理解を進めるとともに、各行事を実施する際には近隣住民の承諾及び参加を求めている。
- 7 ホームページで公開している。
- 8 全学的な情報システム化の取組みはできていない。

### (3)教育活動

評価項目	評価
1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4
2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4 キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか	3
5 関連分野の企業、関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか	3
6 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	4
7 授業評価の実施、評価体制はあるか	4
8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
9 成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか	4
10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
12 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務、兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13 関連分野における先端的な知識、技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

#### 【評価項目に対する状況と課題、対策】

- 1・2 各学科は、学校の教育理念に基づき教育課程を編成している。また、各省庁の認可となっている学科は、それぞれの省庁で定められた基準を遵守している。今後、職業実践教育の観点から、病院、施設、歯科医院との連携を一層充実させた教育課程の編成を行う。
- 3 カリキュラムは各学科の教育目標を基礎に、法令等の指定を受けた学科はそれぞれの資格取得に関わる指定基準を満たしたものとなっている。  
各学科では、学科の目指す人材像と必要な技能を習得するための適正な時間数を定めてカリキュラムを編成し、定期的にその見直しを図っている。
- 4 学生が授業を受けるにあたって、シラバスを配布し、授業の位置付け、授業の目的、授業の到達目標、成績評価の方法と項目、授業計画等を予め知り、授業に興味、関心を持ち、理解を深められるようにしている。また、職業教育に観点から、演習、実習、学外実習を多く実施している。
- 5 カリキュラムの内容については、教育課程編成委員会において関連分野の業界、病院、施設、歯科医院、非常勤講師などの外部関係者の意思を反映させ、作成、見直ししよりよいものにするよう努めている。
- 6 福祉、医療系学科では、関連法令で、施設、病院、歯科医院での実習が定められており、適切に連携し実施されている。

- 7 学生による授業評価は、「授業アンケート」をすべての授業科目に対して実施している。  
今年度は、授業改善のための教員による相互研鑽を目的とし、教員自らが授業を振り返り、また、参観した授業の良い点を見つけ参考する試みを開始した。
- 8 学校関係者評価委員会で、卒業生、関連分野の業界、病院、施設、歯科院などの外部関係者から評価を受け、その結果を積極的に学校運営、教育に取り込んでいる。
- 9 成績評価及び単位認定は、「学則」及び「細則」に従い厳正かつ慎重に行っている。
- 10 資格取得は、特別授業、受験対策講座、模擬試験等を計画的に実施している。
- 11 人材(専任教員)の確保については、専修学校設置基準を始めとした関係法令により教員資格が定められており、基準に従った人材を確保、育成している。また非常勤講師についても基準を満足した第一線で活躍している人材の確保ができており、多くの現役の方々の協力を得ている。ただ、専任教員の確保については、多様化した学生の現状から、専門性レベルだけでなく、学生にわかりやすい授業ができる教授力を備えた教員の育成、確保が必要である。
- 12 HP等で教員確保の努力をしている。  
マネジメントは行っていない。
- 13 各種団体が実施する研修、学会等の参加を積極的に進めている。また、学内においては公開授業を実施し、資質向上のための取組をしている。
- 14 関係団体、機関の実施する研修、講習会などに参加しているが、十分ではない。

#### (4)学修成果

評価項目	評価
1 就職率の向上が図られているか	4
2 資格取得率の向上が図られているか	4
3 退学率の低減が図られているか	4
4 卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

#### 【評価項目に対する状況と課題、対策】

- 1 就職に向けた相談、支援、指導は、本人－担任－学生部就職課が一体となり目標を達成している。
- 2 資格取得率、合格率の向上を目指して各学科が主体的に取り組んでいる。合格率が全国平均を下回る資格については原因を分析し対策を講じている。
- 3 担任は、日常の出欠席や遅刻、学校生活や授業態度等を定期的に確認し、退学の兆候やサインを見逃さないようにし、退学の予防を図っている。しかし、毎年、基礎学力や生活態度に不安のある学生が相当数入学してきており、教員の個人的な努力では、退学の予防を対応しきれない状況になってきている。平成21年度より教育相談員を配置、また、担任、学科長、学部長も個人面談、学生相談を行い、退学を未然に防ぐ努力をしている。  
また、経済的理由により継続することが難しい学生も多く、各種奨学制度はじめ、授業料分納制度や、留年生対象の授業料免除・減免で救済措置等を実施している。
- 4 本校内にある同窓会事務局と連携し、卒業生の活躍を把握できる体制が必要である。
- 5 卒業生の状況については、実習等を通じてある程度の把握はしているものの、学校全体としては十分ではない。

## (5)学生支援

評価項目	評価
1 進路、就職に関する支援体制は整備されているか	4
2 学生相談に関する体制は整備されているか	4
3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6 学生の生活環境への支援は行われているか	4
7 保護者と適切に連携しているか	4
8 卒業生への支援体制はあるか	4
9 社会人ニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10 高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取組が行われているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

### 【評価項目に対する状況と課題、対策】

- 1 就職活動支援の専門部署として、学生部学生課を配置している。担任と連携し、きめ細かい指導と充実した就職情報によって、学生は納得して受験する就職先を決めている。
- 2 学生の相談、援助については原則担任または学生相談室の教育相談員が対応している。また、必要に応じ、学生の状況を保護者へ連絡し、家庭と協力した相談、援助を行っているが、様々な理由で、保護者の協力を得にくい環境の学生も年々増えている。
- 3 日本学生支援機構や介護福祉士修学資金貸与制度を始めとした公的機関の奨学金制度の案内及び取次ぎ事務を積極的に進めている。また、学費に関しては、分納、延納制度や、進級、卒業できない場合の学費減免制度を通して支援を行い、柔軟に対応している。
- 4 年に1回の健康診断及び窓口に薬を常備し、保健室を設けている。
- 5 学生の自治会活動及びボランティア活動に対して活動費の補助等支援を行っている。
- 6 アパート、駐車場等の紹介を行っている。
- 7 無断欠席や欠席が続くなど、必要に応じて適宜担任が保護者に連絡をしている。特に最近では心理的な問題を抱えている学生も多く、三者面談などを行う場合がある。
- 8 卒業後、いつでも就業上の悩みや離職の相談などに応じており、就職支援も行っている。また、国家試験を取得できなかった学生に対し、受験対策講座を聴講できる体制をとっている。
- 9 施設、設備は教育上必要なものは十分対応できるよう備えられている。  
専門教育に必要な設備、機器の劣化への対応は速やかに行っている。ただし、現場と同じ機材や最新の機器等の入れ替えは十分ではない。
- 10 高校からの依頼で模擬授業や進学ガイダンスを積極的に引き受けている。  
栃木県専修学校各種学校連合会主催の進路連絡協議会に参加し、高校の教員に情報を提供している。

## (6)教育環境

評価項目	評価
1 施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3 防災に対する体制は整備されているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

### 【評価項目に対する状況と課題、対策】

- 1 施設・設備は、現行の教育に対応できるものであり、専門教育に必要な設備・機器は、劣化への対応はもちろんのこと、社会ニーズや教育内容、教育方法の変化、発展に合わせて更新、改善できるように管理している。  
学習方法、指導方法の多様化が進んでいることから、特に視聴覚、IT関連の設備・機器については、年間の使用計画と予算に基づいて、毎年、定期的に可能な限り最新のものに更新している。
- 2 実習先は、法令の要件を満たし、学科の教育目標を達成するために適した所を第一に考慮し、学生の学習の場として相応しいかどうかを十分に検討して選定し、依頼している。  
実習中は、専任教員と実習指導担当教員を実習先に配置し、また、定期的に訪問し、学生の状況を把握すると共に実習指導者とのコミュニケーションを図り、連携して学生指導を行っている。
- 3 防災訓練は、法令及び消防計画に基づき毎年1回実施している。

## (7)学生の受入れ募集

評 価 項 目	評価
1 学生募集活動は、適正に行われているか	4
2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3 学納金は妥当なものとなっているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

### 【評価項目に対する状況と課題、対策】

- 1 学生募集が厳しい状況で、定員の充足が難しくなっているが、栃木県専修学校各種学校協会のルールに基づき、志願者の立場で適切、適正な情報の提供を行っている。入学案内書、各種リーフレット、ホームページ等での情報提供については、入学志願者に分かりやすく、興味をもってみてもらえる必要があり、様々な観点から適切性について常に点検している。
- 2 学校案内及びホームページなどの記載にあたっては、真実を明瞭、公正に記載している。また、教育成果についても真実を正確に伝えている。
- 3 学納金は社会情勢や他校の状況等を踏まえて毎年検討を重ねており、妥当なものであると考えている。



## (8)財務

評価項目	評価
1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2 予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3 財務について会計監査が適正に行われているか	4
4 財務情報公開の体制整備はできているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

### 【評価項目に対する状況と課題、対策】

- 1 学校運営にとって、財政基盤の安定確保は最重要課題であり、18歳人口の減少や、大学全入時代の環境のなか、引き続き学生確保は厳しく、法人全体としても厳しい予算編成を強いられているが、平成22年度から学生増になっており、これを継続できるよう努力していく。
- 2 予算は計画に従って妥当に執行されている。
- 3 会計監査については、法人本部の所管で、外部監査、及び内部監査を適切なスケジュールで実施しており、指摘事項があった場合は適切に是正措置を講じている。
- 4 財務情報はホームページにて公開している。

## (9)法令等の遵守

評価項目	評価
1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4 自己評価結果を公開しているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

### 【評価項目に対する状況と課題、対策】

- 1 本校は、専修学校の教育に関わる各種の法令及び専修学校設置基準、また、法令等の指定学科にあってはその指定に関わる基準等を遵守し、適正な運営をしている。  
教育基本法、学校教育法、専修学校設置基準を基本に、設置学科に適用される介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、理学療法士、作業療法士、看護師に関する法律等をはじめ、関係する諸法令を遵守している。
- 2 個人情報については「個人情報保護基本方針」「個人情報の保護に関する規則」を定め、継続的に保護を実施している。
- 3 自己点検・自己評価については、実施方法に関する知識不足、評価要員が確保できない等の理由により実施体制の構築が進まず、平成19年度から平成23年度までは、授業アンケートによる授業評価程度であったが、平成24年度より現行のかたちとなった。
- 4 公開している。

## (10)社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか	4
2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
3 地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

### 【評価項目に対する状況と課題、対策】

- 1 シルバー大学校や栃木女子刑務所に講師を派遣している。
- 2 学生のボランティア活動の奨励、支援については、福祉系学科においては実習先からの依頼を始めとして積極的に推進、支援している。しかし、学校に文書により正式に依頼されたボランティアについては、なかなか実態がついてこない。
- 3 介護委託訓練生の受入や、栃木市内地域包括支援センター主催の家族介護教室に講師を派遣している。